

子どもの救急 ミニガイドブック



埼玉県のマスコット
「コバトン」

なまえ

住所

平成20年10月 第1刷発行
平成24年 9月 第3刷発行
平成26年10月 第5刷発行
平成28年 8月 第7刷発行
平成30年 8月 第9刷発行
令和 3年 3月 第11刷発行
令和 5年 3月 第13刷発行

平成22年 7月 第2刷発行
平成25年10月 第4刷発行
平成27年10月 第6刷発行
平成29年 9月 第8刷発行
令和 2年 2月 第10刷発行
令和 4年 2月 第12刷発行
令和 6年 3月 第14刷発行



埼玉県保健医療部医療整備課
監修：埼玉県救急電話相談事業運営協議会

はじめに

このガイドブックは、保護者の方に、子どもの急な病気やけがの対処方法などをお示しし、症状をしっかりと把握し、あわてずに落ち着いて対応していただくことを目的に作成されました。

休日や夜間の小児救急医療現場では、時間外に受診する軽症の患者さんが増えることで多忙と混乱が生じています。救急病院に軽症の患者さんが集中することで、本当に重症な患者さんへの対応が遅れるおそれが生じたり、過重な負担のために小児科医の病院離れが進むなど様々な問題が出てきています。

保護者の方にはこのガイドブックを利用し、いざというとき子どもたちが安心して医療が受けられる小児救急医療体制が維持・確保されますよう、御協力をお願いいたします。

このガイドブックは、生後1か月から6歳くらいまでのお子さんを想定して作成しています。

なお、このガイドブックに示した内容は、あくまでもひとつの目安であるということ
を理解したうえで御利用ください。

目次 contents

急病のときの対応

発熱	3
吐く	5
げり	7
腹痛	9
けいれん・ふるえ	11
せき(ゼエゼエする)	13
耳の痛み	15

ケガのときの対応

頭を打った	17
鼻血	19

事故のときの対応

誤飲(変なものを飲み込んだ)	21
やけど	23

子どもの事故の防ぎ方	25
------------	----

上手なお医者さんのかかり方	27
---------------	----

いざというときのお役立ち連絡先

埼玉県救急電話相談	29
埼玉県AI救急相談	29
中毒110番・電話サービス	30
「こどもの救急」日本小児科学会サイト	30
全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)	30



急病のときの対応

38.0℃以上の発熱

#7119番で
症状の相談 p.29

3か月未満

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



3か月～6歳

- 元気がなく、ぐったりしている。
- オシッコが出ない。
- いつもと違って活気がない。
- よく眠れず、ウトウトしている。
- 水分をとるのをいやがる。

「はら」が1つ以上

お子様の様子を見つつ、診療時間になってから
かかりつけの先生に診てもらってください。
(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患
診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は、休日急患診療所や
救急医療機関を受診してください。

1つも「はら」がな

家庭での対処方法

- ①熱の出始めはあたたかめに、熱が出きったら涼しくしてあげましょう。
- ②暑そうなら涼しく、寒そうならあたたかくしましょう。
- ③水分(乳幼児用イオン水など)をこまめに与えましょう。
- ④汗をかいていたら、汗をふいて着替えをさせましょう。
- ⑤頭やわきの下をいやがらない程度に冷やしましょう。
- ⑥元気そうなら、解熱剤を使うのは控えましょう。



ひんぱんに吐く



#7119番で
症状の相談 p.29

- 生後3か月未満の赤ちゃんで母乳、ミルクのたびに勢いよくおう吐を繰り返す。
- お腹がはっていて、ぐったりしている。
- 血液(赤色、褐色)や胆汁(緑色)を吐いた。
- 元気がなく、活気もなく、気持ちが悪そうに吐く。
- いつもと違う様子である。
- 何度もげりをしていて、ぐったりしている。
- オシッコがでない。
- くちびるが乾いて、ぐったりしている。
- ウトウトしていても、ちょっとした刺激に過敏に反応する。
- 血液の混じったウンチがでる。

「はい」が1つ以上

1つも「はい」がない

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



お子様の様子を見つつ、診療時間になってからかかりつけの先生に診てもらってください。
(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は、休日急患診療所や救急医療機関を受診してください。

家庭での対処方法

- ①おう吐から30分～60分程度経ったら、乳幼児用イオン水などを少しずつ、何度も与えましょう。
- ②寝ているときは、体や頭を横に向けるようにしましょう。



急病のときの対応

げり



#7119番で
症状の相談 p.29

げり

3か月未満

- 元気がなく、ぐったりしている。
- 3時間以上、オシッコがでない。
- おう吐がある。
- 38.0℃以上の熱がある。
- くちびるや口の中が乾燥している。
- 血液の混じったウンチがでる。
- 不機嫌が持続する。

3か月～6歳

- 元気がなく、ぐったりしている。
- オシッコがでない、色の濃いオシッコをする。
- ひどくお腹を痛がる。
- よく眠れずに、ウトウトしている。
- 水分をとるのをいやがる。
- 目がくぼんでいる。
- くちびるや口の中が乾燥している。
- 血液の混じったウンチがでる。
- 不機嫌が持続する。

「はい」が1つ以上

「1つも」はない

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



**お子様の様子を見つつ、診療時間になってから
かかりつけの先生に診てもらってください。**
(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患
診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は、休日急患診療所や救急医療機関を受診してください。

家庭での対処方法

- ①げりがひどいときは、食べ物よりはまず水分を十分に与えましょう。
- ②家庭内の感染を防ぐために、排泄物の始末をした後に手をよく洗いましょう。

げり



急病のときの対応

腹痛



#7119番で
症状の相談 p.29

腹痛

腹痛

- ぐったりして泣いてばかりいる。
- お腹をかかえて痛み、しっかり歩けない。
- 血液の混じったウンチがでる。
- お腹がパンパンにふくらんでいる。
- お腹をさわると痛がる。
- おまた(陰のう、股のつけね)を痛がる。
- 腹痛になる前にお腹や腰を強く打った。
- 痛みがだんだんひどくなる。
- がまんできないほど痛い。

「はい」が1つ以上

1つも「はい」がない

・休日急患診療所 ・救急医療機関



お子様の様子を見つ、診療時間になってからかかりつけの先生に診てもらってください。

(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は、休日急患診療所や救急医療機関を受診してください。

- 数日ウンチがでていない。
- ウンチをしたら痛みがやわらいだ。
- おへそのまわりを痛がる。
- がまんできる程度の、軽い痛み。

家庭での対処方法.....

- ① トイレにいつて排便させてみましょう。(浣腸をしてあげるのもよいでしょう。)
- ② 腹痛が軽いときは、無理に食べさせないで、水分を少しずつ飲ませ、様子を見ましょう。
- ③ 「の」の字を描くようにお腹を優しくマッサージしてあげると少し楽になることがあります。



急病のときの対応

けいれん・ふるえ



#7119番で
症状の相談 p.29

- けいれんが止まっても意識がはっきりしない。
(目が合わない。お父さん、お母さんが分からない。)
- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い。
- けいれんが5分以上続く。
- 何度もくり返しけいれんが起きる。

1つでも
該当



119番
救急車を呼ぶ!

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



けいれん

けいれん

該当
しない

- はじめてのけいれん。
- 生後6か月未満。
- 6歳以上。
- けいれん時、体温が38.0℃
以下であった。
- けいれんに左右差がある。
- おう吐、おもらしをともなう。
- 最近(1か月以内に)頭をぶつけた
ことがある。

1つ以上
「はい」が

お子様の様子を見つ、診療時間になってから
かかりつけの先生に診てもらってください。

(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患
診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は、休日急患診療所や
救急医療機関を受診してください。

1つも
「はい」がない

家庭での対処方法

- ①顔を横向けにして、衣類をゆるめましょう。
- ②体を揺すったり、たたいたりしないようにしましょう。
- ③口の中に指、物をいれてはいけません。



急病のときの対応

せき(ゼエゼエする)



#7119番で
症状の相談 p.29

せき

- 声がかすれ、
犬の遠吠えやオットセイの
鳴き声のようなせきをする。
- ゼエゼエ、
ヒューヒューいう。
- 息苦しそうである。
- 呼吸が速い。
- 元気がなく、
ウトウトしている。
- 水分をとりたがらない。
- 口の回りや、
くちびるが紫色になる。

「はい」「が」1つ以上

1つも「はい」「が」がない

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



**お子様の様子を見つつ、診療時間になってから
かかりつけの先生に診てもらってください。**

(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患
診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は休日急患診療所や
救急医療機関を受診してください。

家庭での対処方法

- ①乾燥しているときは、部屋を加湿しましょう。
- ②せきが激しく食事がとれない場合は、のどに刺激の少ない
水分を少しずつ飲ませましょう。タンが切れやすくなります。

せき



急病のときの対応

耳の痛み



#7119番で
症状の相談 p.29

発熱はありますか？

ある

- 耳の痛みが強い。
- 元気がない。

「はい」が1つ 以上

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



「はい」が1つ もない

お子様の様子を見つ、診療時間になってから
かかりつけの先生に診てもらってください。
(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患
診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は休日急患診療所や
救急医療機関を受診してください。

なし

- 耳の痛みが強い。
- 声かけや音に反応しない。
- 歩き方がいつもと違う。
- おう吐を繰り返す。

「はい」が
1つ以上

「はい」が
1つも

家庭での対処方法

中耳炎の痛みは、解熱剤で一時的に抑えることができますが、診療時間になったら必ずかかりつけ医にもう一度診てもらいましょう。(痛み止めとしての解熱剤の使い方を、かかりつけ医に前もって聞いておくとういでしょう。)



ケガのときの対応

頭を打った



#7119番で
症状の相談 p.29

- けいれんした。
- 意識がない。
- だんだん反応が弱くなる。
- 出血が止まらない。
- 手足が動かない。

1つでも該当



119番
救急車を呼ぶ!

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



該当
しない

- 打った部分がへこんでいる。
- ぶよぶよとした軟らかい
たんこぶが触れる。
- 何回も吐く。
- 重度のけがの仕方(受傷機転)。

1つ以上
「はら」が

1つもない
「はら」がない

お子様の様子を見つ、診療時間になってから
かかりつけの先生に診てもらってください。
(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患
診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は休日急患診療所や
救急医療機関を受診してください。

けがの仕方(受傷機転).....

- 軽度 足が地面や床についた状態からの転倒や止まっているものへ頭をぶつけたといったものなど。
- 中等度 軽度と重度以外のもの。
- 重度 車外へ放り出されたり、同乗者が死亡した交通事故、2歳以上なら1.5m以上、2歳未満なら0.9m以上からの転落など。

家庭での対処方法.....

2日程度は、普段と変わったことがないかどうかよく注意して観察しましょう。

頭を打った

頭を打った



ケガのときの対応

鼻血



#7119番で
症状の相談 p.29

前屈みに座らせ、
血液は飲まずに
吐き出させる。

鼻翼(小鼻)を
指でつまむ様に
しっかり押さえる。

安静にして
15分間
圧迫止血する。

鼻血が止まらない

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



鼻血が止まった

受診の必要はありません。

ただし

症状が大きく変わった場合は休日急患診療所や救急医療機関を受診してください。

家庭での対処方法

- ①血液を飲み込むと刺激となって吐きやすいので、飲み込まずに吐き出させましょう。
- ②小鼻の部分をしっかり押さえないと止血になりません。慌てずに15分間は押さえましょう。



事故のときの対応

誤飲(変なものを飲み込んだ)



中毒110番 p.30
たばこ専用電話 p.30
#7119番で症状の相談 p.29

- 意識がない。
(けいれんを起こしている。)
- 息が苦しそう。

該当する

119番 救急車を呼ぶ!



該当
しない

- ボタン電池 磁石
- 灯油 ベンジン マニキュア
- 除光液 洗剤液 漂白剤
- しょうのう(衣類用防虫剤)
- たばこ 医薬品
- ホウ酸団子(ゴキブリ誘引殺虫剤)
- パラジクロロベンゼン
(衣類用防虫剤やトイレの芳香剤)
- ナフタリン(衣類用防虫剤)

- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



異物を取り除き、しばらく様子を見る。
(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は休日急患診療所や救急医療機関を受診してください。

観察ポイント

- ① 顔色、意識、呼吸、脈拍を観察しましょう。
- ② 「何を」「どのくらい」「いつ」飲んだのかメモしましょう。
- ③ 原則、吐かせる必要はありません。
- ④ 牛乳、水などを無理に飲ませる必要はありません。



事故のときの対応

やけど



#7119番で
症状の相談 p.29

急いで流水や氷などで冷やす

- 皮膚が黒く焦げていたり白くなっていたりする。
- 全身又は広範囲のやけどである。

1つでも該当

119番
救急車を
呼ぶ!



- ・ 休日急患診療所
- ・ 救急医療機関



- 水ぶくれ(水疱)ができています。
- やけどした範囲がその子どもの手のひらの大きさである。
- 顔、手のひら、関節部分のやけどである。

1つでも該当

- 範囲が狭く、赤いだけで水ぶくれ(水疱)になっていない。

十分に冷やして、診療時間になってから
かかりつけの先生に診てもらってください。

(連休や年末年始のときは、翌日に休日急患
診療所や救急医療機関を受診してください。)

ただし

症状が大きく変わった場合は休日急患診療所や
救急医療機関を受診してください。

家庭での対処方法

- ①流水(水道を流しながら)でも、保冷剤(ハンカチ等で包む)でもよいので、とにかく冷やしましょう。
- ②冷やす時間は最低15分以上、痛みがなくなるまで出来るだけ長く冷やし続けましょう。
- ③衣類などは無理に脱がさず、そのまま冷やしましょう。
- ④水ぶくれ(水疱)が破れないように注意しましょう。
- ⑤受診するまでは自分の判断でやけどした場所に何も塗らないようにしましょう。



子どもの事故の防ぎ方



子どもの命を守るのは大人の責任です。

事故防止には、最大限の注意を払い、命に関わるような事故は絶対に防がなければなりません。

子どもの目線で見回して、危険なものがないか常に確認しましょう。

子どもからできるだけ目を離さないようにすることが大切です。

月齢・年齢	起きやすい事故	予防のポイント
新生児～6か月	ちっそく 窒息事故	<ul style="list-style-type: none"> ● 敷布団はかためのものを選びましょう。 ● タオルや掛け布団で赤ちゃんの顔を覆わないように気をつけましょう。 ● 添い寝をしながら授乳をしないようにしましょう。 ● うつぶせに寝かせないようにしましょう。
	転落事故	<ul style="list-style-type: none"> ● ベッドの柵は必ず上げておきましょう。
7か月～11か月	転落・転倒 (玄関・ベビーカー・階段からの転落など)	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイハイやつかまり立ち、つたい歩きなどができるようになると、いろいろな事故が起こりやすくなります。子どもから目を離さないように気をつけましょう。
	やけど・誤飲・中毒	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの身の回りや手の届くところに誤飲ややけどにつながるようなものは置かないようにしましょう。
1歳～6歳	溺水(おぼれる)	<ul style="list-style-type: none"> ● 浅い水でもおぼれることがあるので、浴槽の水を全て抜いておきましょう。 ● お風呂のふたの上で遊んだりするので、お風呂場の扉には鍵をかけましょう。
	転落事故	<ul style="list-style-type: none"> ● ベランダに踏み台になるような物を置かないようにしましょう。
	誤飲・中毒・交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ● 危ないことをしたら、きちんと叱り、規則とマナーを教えましょう。 ● 外出時、危険な場所では手をつなぐなど、子どもから目を離さないようにしましょう。



上手なお医者さんのかかり方



かかりつけ医を持ちましょう

- 『かかりつけ医』とは気軽に健康相談や、病気の相談にのってくれるお医者さんのことです。
- かかりつけ医は、普段の子どもの様子を分かっている、その子の病気や薬のことだけでなく、予防接種や育児の不安や疑問についても相談にのってくれます。
- 必要なときには、適切な病院やお医者さんを紹介してもらうこともできます。



できるだけ診療時間内に受診しましょう

- 昼間、子どもの体調がおかしいな、と思ったら、早めにかかりつけ医に診てもらいましょう。
- 休日や夜間の救急病院は、あくまでも緊急事態に備えるためのものです。そのため、医療スタッフや、検査機器の使用は重症の患者さんのために優先されます。本パンフレットを参考に、緊急を要するとき以外は平日日中の診療時間内に受診しましょう。



診察を受けるときに持って行くものをチェックしましょう

- 母子健康手帳 保険証 診察券 こども医療券
- 子どもの状態がわかるもの(体温・症状を書いたメモ)
- 飲んでいる薬や薬の名前がわかるもの(お薬手帳など)
- 着替え タオル 紙おむつ ビニール袋
- ティッシュペーパー おもちゃ



休日・夜間のかかり方

- 地域の休日急患診療所や救急医療機関を市の広報誌などであらかじめ確認しておきましょう。
- 救急医療機関のお医者さんは、日頃からその子どもの様子を見ているかかりつけ医とは違います。すぐに入院して治療する必要があるか、翌日まで様子を見てもいいかなど、一時的な判断をするのが役目です。
- お医者さんに診てもらう際は、的確・簡潔(いつから、どのような症状)に説明しましょう。
- 翌日まで様子を見てもいいと判断された場合は、応急処置を受けて、改めてかかりつけ医を受診しましょう。





いざというときのお役立ち連絡先

埼玉県救急電話相談

突然のけがや体調の変化は不安が募るものです。そんなときは、次の窓口につながることで、家庭での対処方法やすぐに医療機関に行くべきかどうか、看護師に相談できます。

■電話番号

#7119

(ダイヤル回線・IP電話・PHS・よいお-ホ-
都県境の地域でご利用の場合は) **048-824-4199**

※なお、「小児救急電話相談については、下記の番号からも電話をかけられます。
「小児救急電話相談」#8000 及び 048-833-7911

■ご利用にあたっての注意事項

- ①この電話は医療行為ではなく、電話でのアドバイスにより、相談者の判断の参考としていただくものです。
- ②案内された医療機関を受診する場合は、必ずその医療機関に事前に電話で確認してからお出かけください。
- ③聴覚障害者用の医療機関案内
専用 FAX **048-831-0099**
依頼書は埼玉県 HPI「埼玉県救急電話相談」に掲載

埼玉県AI救急相談

県民の不安解消や医療機関への適正受診を更に推進するため、救急電話相談に加えて、全国初となるAIを活用した「埼玉県 AI 救急相談」を導入しましたので、ご利用ください。

<https://www.saitama-aiqqsoudan.com/>
「埼玉県 AI 救急相談」で検索!



QRコードで簡単にアクセスできます。

中毒110番・電話サービス

誤飲や誤食の急性中毒について、その対処方法が分からない場合は公益財団法人日本中毒情報センター(中毒110番)にご相談ください。

■電話番号

大阪中毒110番 **072-727-2499** (365日・24時間対応)
つくば中毒110番 **029-852-9999** (365日・9時から21時対応)

■たばご専用電話(自動音声応答による情報提供)

072-726-9922 (365日・24時間対応)

「こどもの救急」(公益社団法人日本小児科学会サイト)

お子さんの症状をチェックすることで、すぐに病院に行くべきか、おうちで様子を見て大丈夫か、判断の助けになります(生後1ヵ月~6歳のお子さんが対象)。

QRコードで簡単にアクセスできます。



<http://kodomo-qq.jp/>

「こどもの救急 日本小児科学会」で検索!

全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)

該当する症状等を画面上で選択していくと、緊急度に応じた対応がわかります。

QRコードで簡単にアクセスできます。



http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_6/kyukyuu_app.html

「Q助」で検索!